

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 9 月 24 日現在

機関番号：32809

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25463650

研究課題名(和文)保健・学校行政協働型の性・自殺・加虐行為等の思春期問題予防地域システムの開発

研究課題名(英文) Development of community-based prevention systems for adolescence problems such as suicide or sexual and sadistic behaviors with coordination between health and educational administration

研究代表者

渡會 睦子 (Watarai, Mutsuko)

東京医療保健大学・医療保健学部・准教授

研究者番号：50360003

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：保健師・学校・教育委員会・児童養護施設とともに教材と地域システムの検討を重ね、信頼できる大人との間に愛情を感じながら、「生きるための心命」「生と性」を学び、将来に希望を持ち、幸せな人生を送っていくことができるよう紙芝居教材「伝えたい『生』と『性』～生きるための心を学ぶ～」を作成した。特に性・自殺・加虐行為等の思春期問題のハイリスク状態にある児童養護施設で暮らす子どもたちが、日常の中で愛を言葉も感じることができるように施設内でも利用できる教材の検討も含め行い、子どもたちに向き合い気持ちを確認しながら話を展開できる紙芝居教材とし、様々な職種が連携した地域システムとした。

研究成果の概要(英文)：Through discussions with public health nurses, schools, educational committees, and foster homes to evaluate educational materials and community-based systems, we created picture-story show-based educational material entitled, “Life and sex: Education of mind to live” in order for children to feel love between reliable adults and to learn about “mind and life” and “life and sex.” In turn, children will have hope for the future and live happy lives. In particular, we included educational materials that can be used in foster homes, where children with high risk for adolescence problems such as suicide or sexual and sadistic behaviors live, in order for the children to feel love in their daily lives. Thus, we used picture-story show-based educational material with which the story can proceed while monitoring the emotions of the children. Furthermore, the community-based systems were created with corporations among various professions.

研究分野：公衆衛生看護

キーワード：性教育 思春期 自殺 加虐 性問題 人工妊娠中絶 性感染症 保健師

1. 研究開始当初の背景

1996年より性感染症などの性問題についての地区診断や、教育委員会等と協働し実態調査に取組み⁵⁾、「生きるための心の教育(性教育)」教材を本研究者は開発してきた¹⁾⁻⁴⁾。

その結果、山形県の10歳代の人工妊娠中絶率を2000年18.3全国6位から2008年5.0全国44位と約1/3に、性器クラミジア感染症を定点あたり8.8から1.5と約1/6に低下させた実績がある⁵⁾⁻⁸⁾。

教材導入期の山形県・福島県教育委員会では、性感染症や人工妊娠中絶の予防のみでなく、他の性問題・自殺・DV(domestic violence)・いじめ・親になってからの虐待等、現代の様々な問題予防にもつながっているとアンケート結果等からも見えるとの反響が大きい。

また、教材は本研究者が山形県保健師としての立場から開発を続けてきたものであり、保健行政における感染症対策・母子保健・精神保健・地域組織活動支援・健康づくり・普及啓発・企画等の役割を持つ保健師が横のつながりを強化し地域を診断も実施してきた。

「生きるための心の教育(性教育)」を再編した思春期問題予防教材は、人工妊娠中絶・性感染症だけでなく、学校保健と協働したその地域に合った自虐・自殺・加虐等の思春期に起こりやすい思春期問題に対する予防システムを開発することは、様々な健康問題に対するモデル的な成果を上げると予測される。

- 1) 渡會睦子. 小・中・高等学校生における性的実態と教職に見る性教育の現況. 日本性科学会雑誌, 2003; 21. No1. 39-45.
- 2) 渡會睦子. 性(生)教育プログラムと教材(小学生用教材). 東京: 日本家族計画協会 2005.
- 3) 渡會睦子. 性(生)教育プログラムと教材(中学生用教材). 東京: 日本家族計画協会 2005.
- 4) 渡會睦子. 性(生)教育プログラムと教材(高等学校生用教材). 東京: 日本家族計画協会 2006.
- 5) 渡會睦子. 効果的な性(いのちの)教育教材の開発と活用～生きるための心を学ぶ、性(いのちの)教育を目指して～家族と健康, 日本家族計画協会, 2006; N0629: 4-5.
- 6) 厚生省大臣官房統計情報部, 保健・衛生行政業務報告: 衛生行政報告例, 東京, 2005, 484.
- 7) 厚生省大臣官房統計情報部, 平成8年-平成16年厚生統計協会, 母体保護統計, 東京, 2006, 厚生統計協会.
- 8) 山形県児童家庭課, 人工妊娠中絶件数, 山形, 2006.

「生きるための心の教育(性教育)」教材 小中高等学校のプログラムとPPTの一部 (全約600枚)

実際の系統的継続的教育の内容 (小学生)	実際の系統的継続的教育の内容 (中学生)	実際の系統的継続的教育の内容 (高校生)			
<p>1年生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. たいせつなからだところ (男の子・女の子) 2. みんなともだち 3. さそいにならない <p>2年生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. わたしたちのせいちょう 2. わたしたちのたんじょう 3. わたしのしごと <p>3年生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テレビとわたしたち 2. 男女なかよく <p>4年生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大きくなってきた私からだ 2. 初経ってなあに 3. 膣通ってなあに <p>5年生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 異性とのかわり 2. 性情報と私たち <p>6年生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の創造 2. 思春期のからだ心 3. 性の病気 <p>命の尊さや体と心を大切にすることを学んだよね</p>	<p>命の尊さや体と心を大切にすることを学んだよね</p> <p>思春期の発達と私</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身の機能の発達と私 2. 思春期の私 3. 不安や悩み、ストレスへの対応 4. 人とのかわり 5. 性情報の選択 <p>中学2年生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思春期のころ 2. 異性とのかわり 3. 性の被害と加害 <p>中学3年生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の尊重 2. 特定の異性とのかわり 3. 性感染症と予防 4. エイズと偏見・差別 	<p>命の尊さや体と心を大切にすることを学んだよね</p> <p>大人としての責任や性のリスクを学ぶのよね!!</p> <ol style="list-style-type: none"> 01. ライフサイクルと青年期 02. 決定判断できる力 03. 自他の生命の尊重 04. 社会における人間関係 05. 性の病気 06. 性情報への対処 07. 性的な発達への適応 <ol style="list-style-type: none"> 08. 性被害・加害 09. 性欲と性行動の個人差 10. 生物生殖 11. 多様な性 12. 体の構造と発達 13. 男子と女子の心の違い 14. 男女平等参画の推進・結婚観 15. 特定の異性との関わり 			
<p>いろんなりといがるね</p> <p>一人ひとり、いいところも、悪いところもあってあたりまえ。一人ひとり、大切な人だよ</p>	<p>自分ができること</p>	<p>最近、いらいらしたり不安な気持ちになることはありませんか?</p>	<p>不安・悩みの発生</p>	<p>子どもの成長 乳幼児期の発達の順序</p>	
<p>教材のノート部分に説明を加えている</p> <p>このスライドで説明する内容がルックごとに、読み上げるとスムーズに保健師でのHIV抗体検査を受けることができる。子どもの主人公のつもりで進める。保健師では何才でも誰でも、HIV抗体検査ができる。ほとんどの場合(感染の危険性が少ない)でもある場合、無料検査で検査できる。保健師では、電話相談もしてくれる。⇒保健師によって</p>					

2. 研究の目的

本研究では共同研究希望県である福島・高知・鳥取県等の学校行政・保健行政と協働し、教員・保健師が属する思春期問題予防地域システム協議会を設立し、小学校・中学校・高等学校において性問題・自殺・加虐行為等の思春期問題と『生きるための心の教育』教材の介入研究・関連分析を行う。特に性・自殺・加虐行為等の思春期問題のハイリスク状態にある児童養護施設で暮らす子どもたちが、日常の中で愛を言葉も感じることができるよう施設内でも利用できる教材の検討も含め検討する。

その上で、各県の保健師と保健行政における感染症対策・母子保健・精神保健・地域組織活動支援・健康づくり・普及啓発・企画等の横のつながりを強化した地区診断を行い、新たな保健・学校行政協働型の性・自殺・加虐行為等の予防に反映する思春期問題予防地域システムを開発することを目的とする。

3. 研究の方法

- 1) 共同研究各県において、保健・学校行政の両方の代表者を集め、思春期問題予防地域システム協議会を設立し、協働する意味について認識し、潤滑なる協働関係を保つための素地を作る。
- 2) 既存の『生きるための心の教育』教材を用い、思春期問題予防地域システム協議会と教育介入の方法を検討する。
- 3) 既存の『生きるための心の教育』教材と性問題・自殺・加虐行為等の思春期問題と教材の関連分析を行う。
- 4) 調査分析結果から、『生きるための心の教育』教材を再編し、思春期問題予防のための教材を完成させる。
- 5) 対象県の保健師と共に地区診断を行い、思春期問題予防計画を作成する。
- 6) 思春期問題予防地域システム協議会とともに、学校行政・保健行政協働型の思春期問題予防地域システムを開発する。

4. 研究成果

- (1) 共同研究各県において、保健・学校行政の両方の代表者を集め、思春期問題予防地域システム協議会を設立し、協働する意味について認識し、潤滑なる協働関係を保つための素地を作る。

既存の『生きるための心の教育』教材を用い、思春期問題予防地域システム協議会と教育介入の方法を検討する。

- ・ 福島・高知・鳥取県等の学校行政・保健行政と協働し、教員・保健師が属する思春期問題予防地域システムに関する研修会・会議を開催した。
- ・ 小学校・中学校・高等学校において性問題・自殺・加虐行為等の思春期問題と『生きるための心の教育』教材の関係について講演し、進め方について検討した。
- ・ 特別支援学級での性行動の活発さなどが議題に上がり、特別支援学級における教育検討が行われた。軽度知的障害を持つ子どもたちの性教育について、鳥取県米子養護学校での教師との検討会、高校生への性教育、保護者との話し合いを行い、各学年性教育教材の検討がなされた。
- ・ 検討会において、思春期問題の蔓延防止を図るには、「認識・取り組み(性教育・予防知識普及等)・評価・維持 継続 評価見直し)」の繰り返しが必要であることが主対策として挙げられた。これらのためにも、
 - ① 学校保健計画は必ず保健主事が作成することになっているが、計画のみ報告され実際には活用されていない場合が多いこともわかった。
 - ② 学校保健計画に合わせ年間計画を進めていくこととする

- (2) 既存の『生きるための心の教育』教材と性問題・自殺・加虐行為等の思春期問題と教材の関連分析を行う。

- ・ 『生きるための心の教育』教材を用いた講演を聞いた生徒の感想より
 - 自殺しなくてよいと気づいた。約5%
 - 思春期が皆にあると気づき安心した。
 - 加虐行為は、自他の違いを認められない幼い心がしてしまうことであるとわかった。
 - 「死ね」「消えろ」という言葉は安易に使ってはいけないと気づいた。

安易な大切な命を自殺に追い込んでしまう可能性もあると気づいた。等の意見が多く生徒より出された。

- (3) 調査分析結果から、『生きるための心の教育』教材を再編し、思春期問題予防のための教材を完成させる。

山形県・鳥取県の学校・特別支援学校・児童養護施設等との話し合いを経て、『生きるための心の教育』教材を再編し作成する思春期問題予防のための教材は、思春期問題のハイリスクグループともいえる特に、親の愛情や養護を十分に受けることができず、性問題・自殺・加虐行為等の思春期問題のハイリスク集団ともなりうる児童養護施設において育てている、小学生・中学生・高校生を中心に展開する教材『伝えたい「生」と「性」～生きるための心を学ぶ～』を作成することとした。

これまではPPT教材としての作成をしてきたが、児童養護施設においても使いやすい紙芝居教材として自他への尊重の基盤を作る小学生用教材より作成することとなった。

内容

信頼できる大人との間に愛情を感じながら、「生きるための心」「命」「生と性」を学び、知識を得ていくことによって、将来に希望を持ち、幸せな人生を送っていくことができることにつながるように構成した。

媒体は、児童養護施設に勤務する職員が、児童養護施設に勤務する職員が統一した教育ができるよう、また、子どもたちの生きていくためのモデルとして、日常生活の中で、愛情を言葉で伝えやすいように、「紙芝居型」にした。

この教材は、養護施設だけでなく、学校・家庭でも使用していくことができるようにした。

① 小学生バージョン

作成した教材は、山形県・鳥取県においてプレテストし、内容を精査した。今後、神奈川県・千葉県・福島県・宮城県等においても、養護施設内・学校教育現場で実践し改善点を今後も検討していく。

② 中学・高校生バージョン

山形県においてプレテストし、内容を精査した。

今後、神奈川県・千葉県・福島県・宮城県等においても、養護施設内・学校教育現場でプレテストし改善点を検討していく。

- (4) 対象県の保健師と共に地区診断を行い、思春期問題予防計画を作成する。

地区診断を行い、学校行政との連携を図っていくための思春期問題の実態把握、分析を行った。

- (5) 思春期問題予防地域システム協議会とともに、学校行政・保健行政協働型の思春期問題予防地域システムを開発する。

・ 性問題・自殺・加虐行為等の思春期問題と『生きるための心の教育』教材(PPT)について、山形県内の全ての5養護施設と母子保健にかかわる保健行政・学校行政とともに、協働型の思春期問題予防地域システム協議会を設立し研修会・会議を開催し、思春期問題予防地域システムについて検討し、年1回の開催が約束された。

また下記の内容検討も行われた。

- ① 学校では既存のPPT教材を用いての性教育に、思春期問題予防教育のスライドを意識し実践する。
- ② 特別支援学校では知的障害を持つ場合、集団教育では既存のPPT教材である『生きるための心の教育』教材を用い実施する。基本的な集団教育は既存教材の学年はマイナス3学年の教材を用いる。そのほか発達状態に合わせクラス分けし、内容を精査することをベストな使用方法とする。

上記の内容をまとめ、教材・ハンドブックを作成した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- 1) 渡會睦子, 熊本悦明, 萬田和志, 野路裕理子, 北村唯一, 郵送検査における *Chlamydia trachomatis*・*Neisseria gonorrhoeae* の咽頭陽性率, 共著, 日本性感染症学会誌, 26(1), 81-90:2015
- 2) Hirohisa Imai, Hiroyuki Nakao, Hisae Shinohara, Mutsuko Watarai, Noriko Matsumoto, Takuya Yamagishi, Masuko Saito, Tadaichi Kitamura., Prevalence, Potential Predictors, and Genotype-Specific Prevalence of Human Papillomavirus Infection among Sexually Active Students in Japan. PLoS ONE 10(7):e0132462. 2015.

その他雑誌等

- 1) 渡會睦子. 大切に育まれた命. 小学保健ニュース 2013 ; 1002.
- 2) 渡會睦子. 性教育は心の教育 小学生における性教育の必要性とは. 小学保健ニュース 2013;1012;4-5.
- 3) 渡會睦子. 性教育は心の教育 小学生の性教育の具体的内容とその反応. 小学保健ニュース 2013;1014, 4-5.
- 4) 渡會睦子. 高校生の生きるための心の教育 (性教育) で心と体を守る. 健 2013;8;23-26.
- 5) 渡會睦子. 性教育は心の教育 小学生の性教育を定着させるためのポイント. 小学保健ニュース 2013;1016, 4-5.
- 6) 渡會睦子. 地域診断と公衆衛生 (保健師) 活動. 公衆衛生 2013;77(10):786-787.
- 7) 渡會睦子, 庄司斉, 會田健司, 佐藤織江, 小野志保, 荒井ひろみ, 相原友佳理, 小学生から始める養護施設における性・自殺・加虐行為等の思春期問題予防教育の検討. 日本思春期学会誌;2015;96.
- 8) 渡會睦子, 児童養護施設における性問題・自殺・加虐行為等の思春期問題予防のための教材検討, 日本公衆衛生雑誌 2015 ; 10(62) : 313.
- 9) 渡會睦子, 萬田和志 , 野路裕理子, HIV 郵送検査受検時アンケートの受検動機と受診意思, 日本性感染症学会誌, 2015;26(2) 83.
- 10) 渡會睦子, 萬田和志 , 野路裕理子, 郵送検査における受検動機と性感染症陽性率, 日

本性感染症学会誌, 2015;26(2) 83.

- 11) 渡會睦子, 庄司斉, 吉岡眞一, 會田健司, 佐藤織江, 小野志保, 相原友佳理, 荒井ひろみ, 児童養護施設における思春期まで伝えたい「生」と「性」, 日本性感染症学会誌, 2015;26(2) 83.

[学会発表] (計 10 件)

1. 渡會睦子: 福島県原発周辺地域における保健師の蓄積放射線量測定と屋外活動時間の関係: 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013 年 10 月. 三重県津市
2. 渡會睦子, 萬田和志, 野路裕理子, 熊本悦明: 郵送検査における *C. trachomatis*, 淋菌の咽頭における陽性率: 第 26 回日本性感染症学会, 2013 年 11 月. 岐阜県岐阜市
3. 渡會睦子, 萬田和志, 野路裕理子, 熊本悦明: 郵送検査における *C. trachomatis*, *N. gonorrhoeae* の生殖器, 咽頭における混合感染率: 日本性感染症学会, 2013 年 11 月. 岐阜県岐阜市
4. 渡會睦子, 萬田和志, 野路裕理子, 熊本悦明: 郵送検査における *C. trachomatis*, *N. gonorrhoeae* の生殖器, 咽頭における混合感染率: 日本性感染症学会, 2013 年 11 月. 岐阜県岐阜市
5. 萬田和志, 野路裕理子, 渡會睦子: 郵送検査における咽頭クラミジア・淋菌の年齢別陽性率: 第 73 回日本公衆衛生学会総会, 2014. 11. 6. 埼玉県宇都宮市
6. 渡會睦子, 庄司斉, 會田健司, 佐藤織江, 小野志保, 荒井ひろみ, 相原友佳理: 小学生から始める養護施設における性・自殺・加虐行為等の思春期問題予防教育の検討: 第 32 回日本思春期学会総会・学術集会, 2015. 8. 30. 滋賀県
7. 渡會睦子: 児童養護施設における性問題・自殺・加虐行為等の思春期問題予防のための教材検討: 第 74 回日本公衆衛生学会総会, 2015. 11. 5. 長崎県長崎市
8. 渡會睦子, 萬田和志 , 野路裕理子: HIV 郵送検査受検時アンケートの受検動機と受診意思: 第 26 回日本性感染症学会, 2015. 12. 6 東京都
9. 渡會睦子, 萬田和志 , 野路裕理子: 郵送検査における受検動機と性感染症陽性率: 第 26 回日本性感染症学会, 2015. 12. 6 東京都
10. 渡會睦子, 庄司斉, 吉岡眞一, 會田健司, 佐藤織江, 小野志保, 相原友佳理, 荒井ひろみ: 児童養護施設における思春期まで伝えたい「生」と「性」: 第 26 回日本性感染症学

会, 2015. 12. 6 東京都

〔図書〕 (計 2 件)

- 1) 齋藤益子, 木村好秀, 渡會睦子, 京野廣一
他. 性感染症の予防. 於: 齋藤益子編. 性
の健康と相談のためのガイドブック. 東
京都: 中央法規出版 2014; 80-83.
- 2) 渡會睦子, **【紙芝居型教材】**伝えたい「生」
と「性」～生きるための心を学ぶ～, 単
著, 日本家族計画協会, 2015.

〔産業財産権〕

- 出願状況 (計 0 件)
- 取得状況 (計 0 件)

6. 研究組織

1) 研究代表者

渡會 睦子 (Watarai Mutsuko)
東京医療保健大学・医療保健学部・准教
授
研究者番号: 50360003

2) 連携研究者

研究協力者 (山形県・福島県・高知県・
鳥取県)